

第5回 研究授業

日 時：令和元年11月11日（月） 第5校時（13:50～14:35）

主 題 名：よく考えて

教 材 名：3年 「どんどん橋のできごと」

1. 授業の様子



○学校の帰りに寄り道をしたり、遊んでしまったりしたことはないですか。今日は、そんな話について考えていきましょう。子どもたちは、『どんどん橋のできごと』の話を読んで、よく考えて行動することの大切さについて学んでいきました。



○授業のなかばで、役割演技を通して「ぼく」のゆれ動く気持ちについて考え、ワークシートに書いていきました。



○グループで考え方を交流する場面もありました。



○先生は、一人ひとりのワークシートをチェックし、ていねいに指導していました。



○この学習を通して、分かったことやこれからどのように行動するのがよいのかを考えて、道徳ノートに書いていました。



○子どもたちの一生懸命に考えている姿がとても印象的な授業でした。

2. 研究討議会

於；ミーティングルーム

講師：成蹊大学 教授

服部 敬一先生

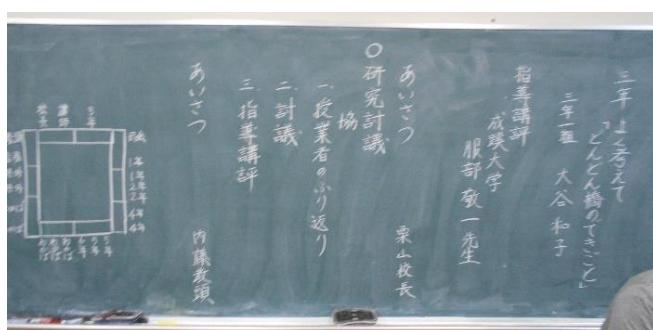
○服部先生を迎えての2回目の研究授業・研究討議会となりました。

○はじめに、授業者から本時の授業についての振り返りがありました。



○その後、参加した教員たちが気づいたことや感想などを述べ合い、良かった点や改善点などについて話し合っていきました。

○服部先生は、今回の授業の成果や問題点、今後の課題などについて整理してくださいました。特に、道徳のねらいは、『～できるようにする。』など行為として書くのではなく、そのために『必要な考え方を気づかせる。』などと書くのがよい。とご指導くださいました。



○そのほかにも今後の研究授業に生かせる多くの示唆をいただき、実りの多い研究討議会となりました。ありがとうございました。

